

ベーシック問題



六年国語

名前

めあて

五年生までに学習した漢字をいつでも書いたり読んだりできるよつにしよう。

一次の には当てはまる漢字を意味を考えて書きましよう。

しつもん に おうとうつ する。

たし かな 。

やち しい 問題。

てき に いきお いがあり ぎやくてん される。

しんかんせん で してん に する。

こうえん の ないよう を しゅつせい する。

りえき の はんがく を あず ける。

ちやうみ した を しりょう する。

きんぞく の せいしつ を くら げる。

二次の漢字の読み方を () に書きましよう。

桜 () の 枝 () を 切る。 興 () 味 () のある 職 () 業 () 。

犯 () 罪 () の 防 () 止 () 。 校 () 舎 () を 移 () す () 。

製 () 造 () を 禁 () じ () る () 。 資 () 源 () の 再 () 利 () 用 () 。

三次は、同じ読み方の漢字です。意味を考えて に漢字を書きましよう。

みそを つく る。 野菜を つく る。

音楽家の 。

式を あ げる。 値を あ げる。

四 反対の意味の漢字を () に書きましよう。

多い () 出席 () 負ける ()

高い () 直接 ()

めあて 言葉に種類があることを知り、正しく使うことができるよつにしよう。

五次の文の中から、動詞を選び、○で囲ましよう。

- ・ 店員が、機械の修理を始める。
- ・ 妹と浅いプールで遊ぶ。
- ・ 言葉の意味を調べる。

いくつできたかな？

50

